

11・4日比谷野音へ！

2012年10月25日
No.63

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

10・19大爆発から11・4労働者集会へ！

全国学生の結集アピール！

●岡山大4年・M

10月19日、監獄大学とも呼ばれる法政大学から大きな学生の行動が起きました！

ビラまき規制、立て看規制、飲酒規制、学祭規制、押し付けられる「ルール」。それを支えている大学職員・教授の暴力。そんな監獄大学から「そんなものはもうたくさんだ！」という叫びが上がり、多くの法大生がその声を聞き、キャンパスを埋め尽くしたのです。

自由や真理の探求が謳われる大学で、学生の自由を奪う「ルール」がどんどん押し付けられ、その一方で原子力ムラの利権を食う御用学者たちが野放しにされています。法政大学の闘いはこういった理不尽な大学のあり方に真っ向から抗議し、学友を信じて大学を根底から変革していく闘いです。

こんな理不尽がまかり通る大学、世の中なんか変えてしましましょう！世の中を変えるのは、形骸化し、人を縛り付けるだけの「ルール」ではありません！！世の中を変えるのは、実際に社会を動かしている労働者と、社会の未来を背負っている私たち学生の団結です！闘う労働者・学生が集まる11月集会に共に参加し、社会全体を変える行動を始めましょう！！団結して闘えば、できないことはありません！

●広島大N

衝撃的だった。法政大学の敷地周辺には警察車両。正門は閉ざされて多くの警備員がいた。キャンパス内の広場にバリケードが設置され学生の侵入を防いでいた。広場を望む窓はブラインドを下げられ、異様な雰囲気だった。

午前の授業が終わると、たくさんの学生が出てきた。一人の

武田雄飛丸君への無期停学処分弾劾！

10月24日、法大文化連盟の武田雄飛丸君(国文3・右写真)に対して不当極まる「無期停学処分」が下された！

10・19闘争の大爆発に対する反動そのものであり、絶対に許すことはできない！第二第三の「10・19闘争」を叩きつけ、絶対に撤回させよう！処分撤回で全国学生は団結し、全ての怒りを11・4集会へ結集させよう！



キャンパスを実力で解放した10・19法大解放総決起集会

法大生が小型の拡声器を片手に叫び始めた。多くの法大生が彼に注目し、集まる。法大のジャージを着た教員たちもそこにいた。教員は無表情だった。叫び続ける法大生をビデオに収め、彼の発言を阻止する。時に学生と教員はもみ合いになる。学生と大学の衝突だ。気づけば、押し寄せる法大生で教員のバリケードは破壊されていた。

法大生の発言に興味がある。教員のストーカー、盗撮。ビラまき、集会などの禁止。一方的な飲酒規制。高い授業料。論文を出さなくても教授になれる大学。なぜあの学生は叫び続けるのか。なぜ大学はそこまでして阻止するのか。無関係だと思えますか。私はそうは思わない。

11・4集会にも興味がある。社会を変えるエネルギーを感じたい。

●福島大3年・H

法大闘争に参加して、学生の注目度の高さに驚きました。建物の窓や屋上から数多くの学生が、何が起きているかを一目見ようとしていました。これは、一般学生の中にも多かれ少なかれ大学への不満を抱えた人がいることを表しているのでしょうか。この何百人・何千人という数の学生が立ち上がった時、大学当局の支配を打ち破って、大学を学生の手に取り戻せるのだと感じました。法大生の注目を集めながら始まったデモ行進も、警察権力の圧力を完全に打ち砕き、見事成功に終わりました。デモの途中で乱闘が起こることもなく、逮捕者はゼロ。歴史的な大勝利を得ることができたと思います。全国学生はこの勢いを保ったまま、11月4日に開かれる労働者総決起集会に臨みます。そして、低賃金・非正規職化・外注化と戦う労働者と連帯し、新自由主義打倒に向けて全力で突き進んでいきます。

●首都圏大学4年

『こいつら、手当て三万貰って来てますよー！！学費こんなに使われて好いんですかー！！』

どっ、とみんな、さんざめき、笑う、マジかよ、高え、其れはいかんねえ。いかん。うん、そうだねえ！隣の女子と私はにこにこ顔きあった。

『弾圧しないで、授業やれよ東大先生！』

そうだ！授業やれー！笑

飛び交う掛け声、弾ける笑い声、どんどん法大生の人垣が増える。

あんなに楽しい集会は初めてでした！10.19、法大解放集会。法大生が、大挙し集まり、処分策動を受けた武田くんを囲み、一部始終を、見届けて居た。

学生は、金や、中身の無いルールに縛られる存在ではない。我々は、教育の民営化の粉碎を掲げます。当局とガチガチぶつかれば、きっと奪われ続けた身体性は復権し、目が冴えてゆく。教授とは名ばかりの、弾圧に三万の手当てを貰いに小遣い稼ぎに馳せ参じるようなクズ。

学問の腐敗！熱血教師ぶって涙声で、決起した学生を抱き締め、共に地に倒れ、お前は、此方の味方だろー、そんなことする奴じゃあないだろー、と云ったと思ったら、門前に振り向き、口角泡を飛ばしちゃって、なんか口汚く怒鳴ってる。この弾圧教師の醜態さ。

ひとの感情が、キャンパスの空気が、高まり、うねり、ひとの本性を暴き出して居た。中身の全くないルールが如何に空語でくだらねーものかかってのを、法大生や私たちは行動で示したんだ。ルールは私たちで作ればいい！

飲酒規制だって撤廃出来るだろうし、学費だって下げられる！

100ミリシーベルト以下なら安全だと云う、とんでもない嘘つき殺人学者を呼ぶ必要すらない！学内に、半年以上放置された、危険管理区域並みのホットスポットだって隠されない！

そして、件の、武田くんの処分だって撤回できる！私立だからしょうがないってのは、幻想なんだ。行動すれば、学生が集まれば、全てが力関係で変わる。変えちゃって、好いんですよ。

そして、11.4の日比谷で行われる、世界から集まる労働者総決起集会！世界をまたにかけ、反乱してやろうじゃあないですか。焦点化する、領土問題や世界的な不況や世界共通の雇用問題。私たちは、繋がれば戦争さえ止められる。

10・23福島大キャンパス集会打ち抜く！



10月23日福島大キャンパスで、福島大生が中心となって「10・23福大から原発を問う学生集会」を打ち抜きました！

ここには「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」の椎名千恵子さんも来て頂き、集会破壊にきた工藤副学長を弾倒しつつ福島大生の圧倒的注目の中集会をやりきりました！！

学生の敵も、戦争も、原発事故も、安保も、全て同じ敵なんです。だから、世界の労働者とも団結できるんです。あの法大解放の高揚は終わっちゃ居ない。11.4が続きます。

待ってます！行動することで、大学を、世界を変えちゃおうぜ！

●広島大2年・H

10・19は、反原発であり新自由主義大学のあり方と日々闘っている法大生・武田君への弾圧・処分を許さない日として、全国からかけつけた学生と法大の中からの決起とが一体となって闘い抜かれました。

学内は昼休み前から職員がすべてのカーテンを閉め、ドアには鍵をかけ、自動ドアも動かない状態でした。にもかかわらず、連日「規制反対！処分阻止！大学を自由に！」、そして「10・19法大集会に集まろう！」という呼びかけのもとつくってきた闘いによって、多くの法大生が昼集会のことを口にし、実際に昼休みは1000人を超す学生集会になりました。これに恐れをなした法大当局は、教授までも動員し、激しい衝突になりました。しかし、1000人の学生を前に弾圧教職員はことごとく粉碎され、その後怒りのデモに出発!!!!

僕は10・19を闘い、熱く燃えに燃え、日々弾圧の中で闘う法大生に感動し、これをキャンパスに還し、11・4に向けてさらなる学生の大結集をつくっていきたいと思います。

11・4全国労働者総決起集会

新自由主義と闘う労働組合の全国ネットワークを！

外注化阻止・非正規職撤廃、解雇撤回！ 反原発・反失業！

◆11月4日(日)正午～

◆東京・日比谷野外音楽堂にて

【主催】全日本建設運輸連帯労働組合・関西地区生コン支部、全国金属機械労働組合・港合同、国鉄千葉動力車労働組合、国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動 http://www.geocities.jp/nov_rally/

※右写真は、5950人が結集した昨年11月6日の全国労働者総決起集会

